

平成 16 年 6 月 28 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 統造
(コード番号 6719 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役 望月 晴夫
(TEL 03-5449-7000)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒川 博昭
(コード番号 6702 東証、大証、名証、各市場 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 4 月 27 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1.平成 17 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 4 月 27 日発表)	23,800	350	320
今回修正予想(B)	24,350	500	450
増減額(B - A)	550	150	130
増減率	2.3	42.9	40.6
前期(平成 15 年 9 月中間期)実績	22,824	211	200

2.平成 17 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 4 月 27 日発表)	48,500	1,000	900
今回修正予想(B)	49,000	1,100	1,000
増減額(B - A)	500	100	100
増減率	1.0	10.0	11.1
前期(平成 16 年 3 月期)実績	46,497	543	603

(ご参考)

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回予想 (A)	12,100	230	200
前期 (平成 15 年度第 1 四半期)実績 (B)	11,096	82	82
前期比増減額 (A - B)	1,004	148	118

3.平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 4 月 27 日発表)	21,300	300	290
今回修正予想 (B)	21,600	400	390
増減額 (B - A)	300	100	100
増減率	1.4	33.3	34.5
前期 (平成 15 年 9 月中間期)実績	20,110	90	86

4.平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 4 月 27 日発表)	43,500	800	780
今回修正予想 (B)	43,800	900	880
増減額 (B - A)	300	100	100
増減率	0.7	12.5	12.8
前期 (平成 16 年 3 月期)実績	41,222	508	321

(ご参考)

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期個別業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回予想 (A)	10,550	200	195
前期 (平成 15 年度第 1 四半期)実績 (B)	9,580	141	141
前期比増減額 (A - B)	970	59	54

5.業績予想修正の理由

当社売上高の主力市場である情報ネットワーク機器向け及び産業機器向けの需要が順調であり、為替も予想より円安傾向で推移しており、また、需要増により販売価格の下落が予想を下回っていること、更に、お客様起点に立ったソリューションビジネスの一層の推進、グループ全体において推進している生産革新運動による生産性向上による利益拡大を図ってまいりましたことで、経常利益、当期純利益とも増益が見込めることから、第 1 四半期経過時点ではありますが、連結・単独の中間、通期の業績予想を修正するものであります。

以 上